

保健体育	課題分析 (学力調査結果、定期考査、授業の実態等)	授業改善策	新学習指導要領に向けて (移行措置対応を含む)
1年	<p>【授業への取り組み】 ○年度当初のオリエンテーションや集団行動、合同体育の効果があり、意欲的に活動する生徒が多い。</p> <p>【課題解決】 ○全体指導が多く、課題解決の場面が少なかった。</p> <p>【体力向上】 ○体力や運動能力の二極化。 (シャトルランなどで好記録を出す生徒が複数いる反面、すぐにあきらめる生徒がいた。)</p>	<p>【授業の工夫】 ○今のモチベーションを維持させるため、リーダー的役割(号令)を小集団の中で持ち回りさせる。 ○スモールステップの課題を提示し、やればできるという達成感を多くもたせる。</p> <p>【課題解決に向けての工夫】 ○グループ学習やペア学習の時間を増やす。 ○学習カードを利用した話し合い活動。</p> <p>【体力向上に向けての工夫】 ○励ましあう環境づくり。 ○毎時間の補強運動の継続。</p>	<p>【主体的に取り組む姿勢】 ○係生徒を中心に生徒が自分たちで授業を進めていくことで、主体的に行動することを身に付けさせる。</p> <p>【運動のスポーツの多様な楽しみ方】 ○チームスポーツの単元を通して、審判や応援などの楽しみ方を指導する。</p> <p>【保健分野】 ○健康の成り立ちと疾病の発生・生活習慣と健康について自分の生活習慣と結びつけながら指導する。</p>
2年	<p>【授業への取り組み】 ○1年生で習得した集団行動の動きが定着し、集合や移動が素早く行えている。意欲的に取り組む生徒が多い。</p> <p>【課題解決】 ○2年生になって慣れもあるのか、集中力に欠ける生徒が一部見られた。また、全体指導が多く、課題解決の場面が少なかった。</p> <p>【体力向上】 ○体力、運動能力が著しく低い生徒が一部いる。 ○柔軟性が低い生徒が多い。</p>	<p>【授業の工夫】 ○技術面のポイントを精選し、スモールステップの課題を提示する。苦手意識の強い生徒も達成感を得られるようにする。</p> <p>【課題解決に向けての工夫】 ○学習カードにて、技術面のポイントを明確に提示する。 ○グループ学習やペア学習の時間を増やす。 ○教えあいの場面やチーム練習を増やす。</p> <p>【体力向上に向けての工夫】 ○集団行動の継続。運動時間、運動量の確保。 ○毎時間の柔軟運動の継続。</p>	<p>【主体的に取り組む姿勢】 ○係生徒を中心に生徒が自分たちで授業を進めていくことで、主体的に行動することを身に付けさせる。</p> <p>【運動のスポーツの多様な楽しみ方】 ○体力や技能の程度にかかわらず、チームスポーツの単元を通して、審判や応援などの楽しみ方を指導する。</p> <p>【保健分野】 ○「障害の防止」において、体育分野(水泳など)と関連を図った授業をおこなう。</p>
3年	<p>【授業への取り組み】 ○2年間の既習事項を基に、更に自己の能力を高めようとする力に課題が見られた。</p> <p>【課題解決】 ○自己や仲間の課題を発見し、その解決方法を考え行動に移すことに課題が見られた。</p> <p>【体力向上】 ○体力や運動能力の二極化。 ○生涯スポーツに携わっていくことへの関心や意欲が不十分である。</p>	<p>【授業の工夫】 ○できることが増やせる場面を設定し、喜びを感じ自信に繋がる指導を行う。</p> <p>【課題解決に向けての工夫】 ○学習資料の提供やグループ学習によって課題を見つけ、解決に向けて努力できるような場の設定を行う。</p> <p>【体力向上に向けての工夫】 ○運動が苦手な生徒でも、進んで運動に取り組める場の設定。グループ編成の工夫。 ○生涯に渡って運動に親しむことが、健康寿命を伸ばすことに繋がることなどを理解させ、自分自身の生活に活かせるよう指導する。</p>	<p>【主体的に取り組む姿勢】 ○係生徒を中心に生徒が自分たちで授業を進めていくことで、主体的に行動することを身に付けさせる。</p> <p>【生徒間での対話】 ○ペア学習やグループ学習の中で、振り返りや反省点などを意見交換し新たな発見に繋げ、より良い方法に気付かせる。</p> <p>【理論と運動の関連】 ○運動の方法、特性、効果などを正しく理解させ、体力の向上に繋げる。 ○自分にとってどのような運動が効果的かを理解させ、それぞれが実践に繋がられるよう指導する。</p>